

SINCE 1926

Aizono works

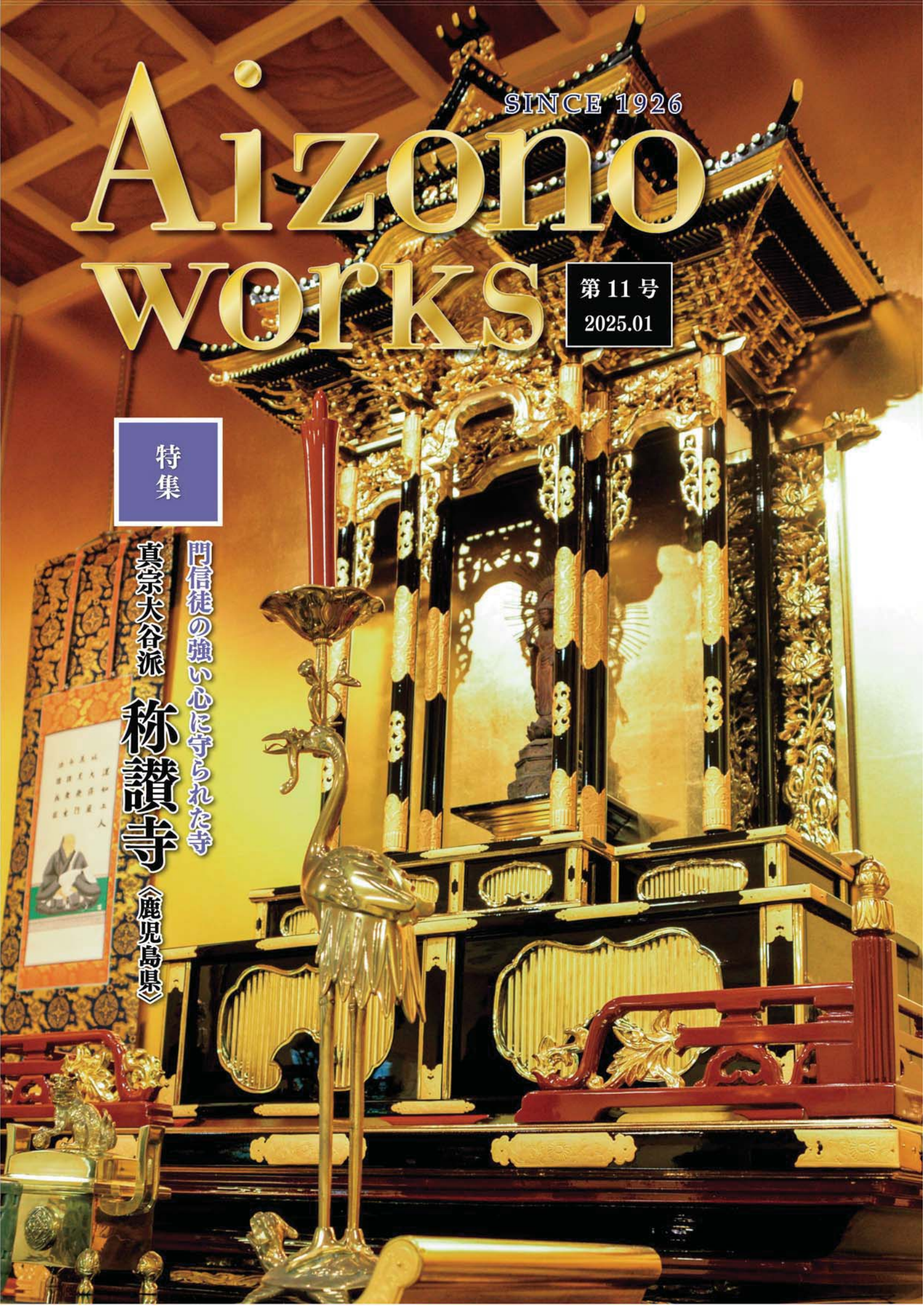
第 11 号
2025.01

特集

門信徒の強い心に守られた寺

真宗大谷派 称讃寺

〈鹿児島県〉



ごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ禍が一段落し終息したかと思いきや、元旦早々の能登半島地震に始まり、国外ではロシアに於けるウクライナ侵攻も3年目となり、パレスチナとイスラエルの戦争勃発。韓国ではユン大統領による非常戒厳令など何かと心が落ち着く間もない1年でした。今年はこの様な惨事が起こらない少しでも平穏な1年を過ごしたいですね…

さて、弊社に於きましては、おかげ様で本年度が創業100年となります。来年2026年には私も社長業を引退し、次の世代にバトンを渡したいと思っています。4代目である私が父より代表を引き継いでから早34年目となり、人生の半分以上の月日を社長業として経営に携わって参りましたが、あっという間の時間だった様な気がします。

来年のAizonoWorks正月号には、改めてご挨拶を述べさせて頂きたいと思います。さあ、社長業残り1年を精一杯頑張ります！皆様今年もよろしくお願い致します。

合 掌

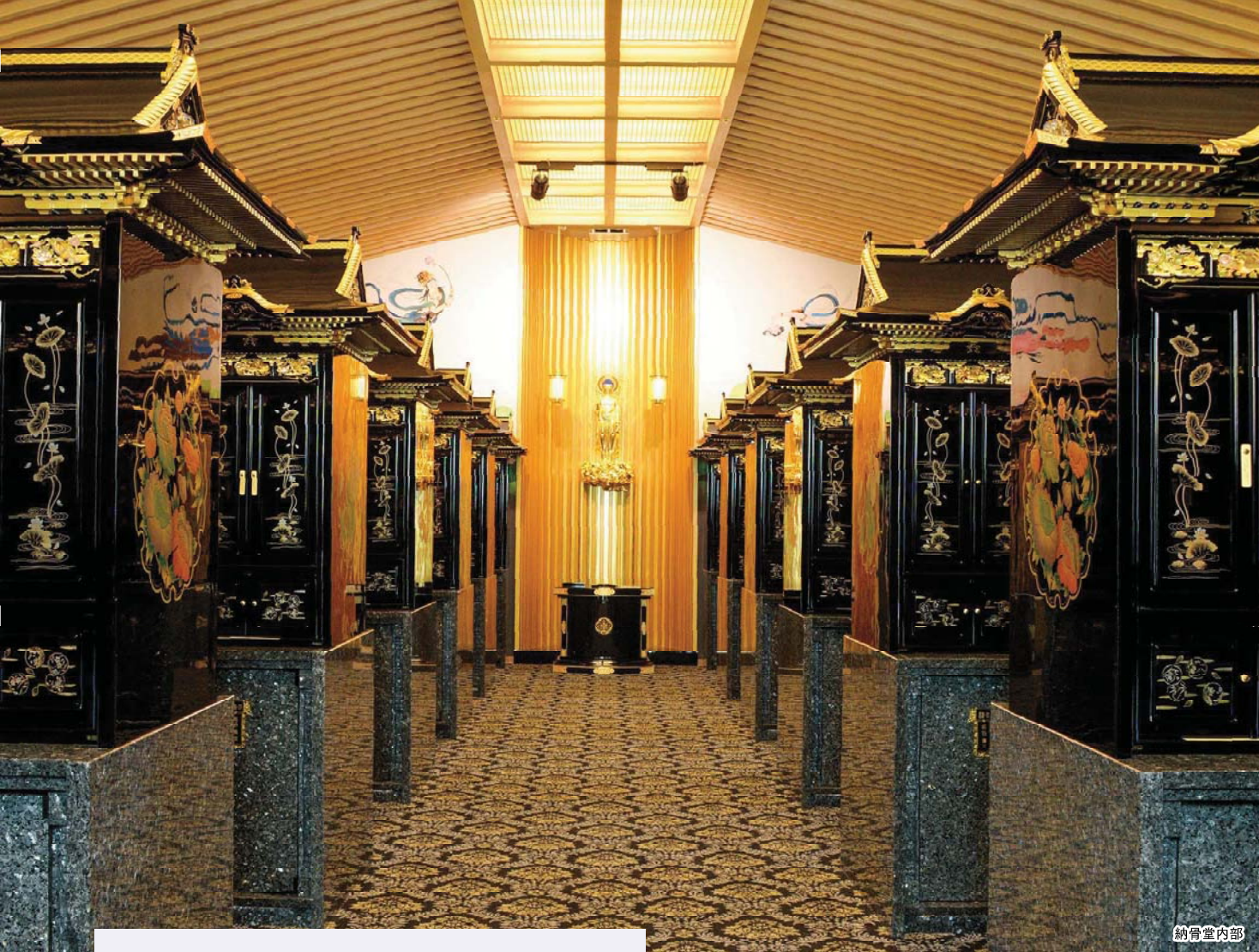
株式会社 あいぞの
代表取締役 藍園 学

特集

問信徒の強い心に守られた寺
真宗大谷派
称讃寺

〈鹿児島県〉





九州の南の突端、鹿児島県枕崎市。ここに位置する浄土真宗大谷派 称讃寺に、このたび納骨堂「慈光堂」が建立されました。長い間、門信徒の方々の念願であった納骨堂は、小高い丘の上に建てられた4階建てで、見晴らしもよく晴れた日には硫黄島（薩摩硫黄島）も見え、外観も威風堂々。新たなランドマークとして、皆さまに喜ばれています。

この度は代務住職の浮邊泰祐氏に、慈光堂への想いと期待を伺いました。

門信徒の強い心に守られた寺

お話を聴かせてくださった浮邊^{うけべ}氏に、まず「代務住職」という耳慣れない言葉について、お尋ねしました。曰く「鹿児島は、薩摩藩による厳しい浄土真宗禁制や廃仏毀釈の歴史によって、お寺が弾圧を受けてきました。約300年間に渡って多数の門信徒の方々が摘発を受けた事により、この辺りのお寺としての歴史は、長くても140年程度とのこと。当時は呉服屋さんなどから場所を借り、そこにお坊さんをお呼びしてご法話を聴いていたとの事です。この弾圧の歴史の中でも、人々は為政者の目を逃れ、山深い洞穴などで大切に念仏を守り続けてきました。「この地域には、その時代に隠れ念仏に使っていた籠などに隠せる小さな仏像をお持ちの方が今もいらっしゃいます。称讃寺はその様な門信徒が守ってきた、歴史あるお寺なんです」

その後、明治時代になり別院が初めてできました。そこから支所とか支院という形で改めてお寺が出来始めました。

その様な流れの中、鹿児島県内には住職はまだ多くはなく、御本山や福岡から来ている方々がほとんどでした。私は以前鹿児島教区教務所に勤務していましたが、3年ほど前に退任し称讃寺に「代務住職」として勤務していますと穏やかな語り口でこの地域とお寺について伝えてくださいました。

伝統に現代の技術を融合する、あいぞのの仕事

念願の納骨堂を建立するにあたっては、多くの仏具業者に提案を依頼されたそうです。「全部で7～8社お願いしたでしょうか。いろんな業者さんが、建築計画やデザインやアイデアを出してくださいました。しかしその中でも、あいぞのさんの提案が目立って斬新でしたね。鹿児島では見たことがないような垢抜けた感覚があり、門信徒さんたちの意見も一致して、ほぼ迷いなく決めさせて頂きました」

藍園社長からは、「普通の御影石でなく、ノルウェー産の高級なブルーパールを使用したり、納骨壇の列ごとに異なるデザインの蒔絵を施したり、細かい



一段式納骨壇



二段式納骨壇



足元灯



LED照明



ステンドグラス



給湯器



ユニバーサルトイレ



ところにも気を配りました」とのお話でした。また、「三年半ほどの時間をかけた大掛かりなプロジェクトでしたが、あいぞの作業時間は正味一年程度でしたので、この間は本当に大変でした。門徒の皆さんが心待ちにしていっしょなので、遅れるわけにはいきません。最大14～15人のスタッフが現場に入って全力で作業をしました。我々も大変でしたが、長く熱心に話し合ってこられた建設委員会の皆さんは本当に大変だったことでしょう」と振り返ります。

まるでホテル。納骨堂から始まる交流

前述の通り慈光堂は、称讃寺門徒の皆様から長年ご要望いただき満を持して建立されたものだそうです。ご住職は「鹿児島は、墓参りや納骨堂参りをとても大切にする地域で、毎日お参りに行きたいという熱心な方もいる。そんな想いに、明るく心地よく、暑さ寒さを凌げ、人が集まり語り合える納骨堂でありたかった」と話します。お仏壇の細部を照らす細やかなLED照明、人感センサーや足元灯など、

心地よさや安全に配慮しました。墓じまいや納骨堂へのお引越しを検討する声も聞こえる中、ふかふかの絨毯が敷き詰められ、壁にはステンドグラスがある、ホテルのような納骨堂が、地域のシンボリック的存在になれたらと思います」と期待を込めて語られ、「内覧会をしたら、御門徒の皆様が驚きと喜びを口々におっしゃいました。あの笑顔は忘れられません」と、ご住職。「役員や御門徒の皆様の願いや希望が込められた納骨堂ですからね」と藍園社長。

さらに給湯器やユニバーサルトイレを設置し、休憩のできるソファも置いて人々の憩いの場も提供。お参りだけで帰るのではなく、この空間で故人やご先祖を想う時間をゆっくりと過ごせます。

最後にご住職が「会館一階のお内仏は、長年に渡り分院で使用しボロボロで使えなくなった古いものを『あいぞの』さんにきれいに修復していただいたものです。お参りに来られた方に『これは、あそこにあった古いお内仏なんですよ』と話したら、とても感激され、改めて『あいぞの』に任せて良かったなと思いました」と仰られると、藍園社長は原点に立ち返るように、こう結びました。

「昔からあるお仏像や仏具は、皆様が永く手を合わされ、お念仏を唱えてこられたもの。それをこれからも永く大切に、次の世代に引き継いでいただくことが、私たちの仕事ですから」と...



会館内仏

Special Interview

株式会社 あいぞの
代表取締役 藍園 学

真宗大谷派 称讃寺
代務住職 浮邊泰祐氏

General Affairs
Department
総務部

変わりゆくお客様の「おもてなし」



皆さまこんにちは。営業事務の後藤朋子です。コロナが5類感染症に移行して1年以上が経ちました。

ようやくこれまで通りの「日常」が戻ってきたような気がしますが、もうマスクなしの生活には戻れなくなった…というお話もお聞きます。

先日ある企業が行った「コロナ渦における職場の来客対応（お茶出し等）に関する実態調査」という記事を目にしました。こちらがその調査結果です。

調査① コロナ以降、来客に対してお茶出しを「現在もしている」は76.6%「過去していたが現在はしていない」は15.2%

調査② 湯呑やグラス等でのお茶出しを「過去していたが現在はしていない」は37.8%その約半数が「ペットボトルや紙パックに変えた」

ペットボトルを直接お出しするのは失礼との以前までの考えから、コロナ渦を経てむしろ「感染対策に配慮したおもて

なし」として捉えられるようになった…とこの記事では締めくくられていました。

なるほど…と納得した反面、感染対策とはいえ日本人ならではの「おもてなし」の文化が簡素化されていくことが少し残念な気もしました。

弊社ではこれからも、おいしいお茶とコーヒーを準備しています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！

Writer 後藤



Sales Department
営業部

早く一人前になるよう 努力していきます！

昨年2月に入社しました福田です。福岡・大分を担当しています。学生時代は、男子新体操競技を7年間取り組み、国体にも出場しました。今の時代ならば私もパリオリンピックに出場し、奇跡の大逆転金メダル獲得となったかも…詳しいことは、訪問した際に聞いてください。（もう、バック転や宙返りはできませんが…）

おかげで、足腰は強いですが、現役時代の怪我で、右脚の前十字靭帯が

りませんので、正座が苦手です。

前職も寺院仏具の営業でした。あいぞのに転職し、彩色の技術が素晴らしいと感じています。特に盛り上げ彩色は、他社では真似のできない職人技の一つです。彩色をお考えの際は、是非ご連絡ください。

会社も変わり、全てが新鮮で諸先輩方に迷惑かけてばかりですが、早く一人前になるように努力していきます。

Writer 福田



AIZONO TOPICS

Temples and
Shrines Laboratory
あいぞの
寺社ラボ

蛍光灯照明器具のLED化について

皆様の周りに照明器具は必ず有ると思っています。一言で照明器具と申ししても色々な器具があり、その中でも従来から多く使われている蛍光灯照明と昨今では多く用いられているLED照明、この2種類の照明器具が大半を占めています。今回は、そのうちの蛍光灯照明器具について書かせていただきます。

2009年国連環境計画管理理事会において、環境に悪影響を及ぼす水銀の管理に関して法的拘束力のある条約の制定に向け政府間交渉委員会を設置し、2013年熊本県で開催された外交会議において「水銀に関する水俣条約」として採択署名が行われました。その後2023年スイスのジュネーブで開催されました、「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議」で

蛍光灯ランプの製造及び輸出入をその種類に応じ段階的に禁止し2027年末までに全面禁止とすることが合意されました。

ここで皆様、「なぜ水銀に関する条約で蛍光灯ランプがダメなの」と思われた方もおられると思います、実は蛍光灯（ガラス管）の中には気体の状態で封入された水銀があり、そこに電気を流す事で紫外線が発生しガラス管内部に塗られた蛍光体が反応して光っているのです。

この様に、蛍光灯ランプには水銀が使われており、作るにも廃棄するにも水銀公害の問題があるからなのです。

この条約の合意を受け、各電気メーカーは蛍光灯照明器具の生産中止、また、蛍光灯ランプについても生産中止または減産を進めており、以前の様に蛍光灯が

切れた際にお持ちの照明器具に合う蛍光灯が手に入りにくい等の事例も出てきています。

近い将来LED照明器具への変更ラッシュが起これば、照明器具の入手が困難になる事も考えられます。また、熱による火災や消費電力を抑える意味でも皆様には早目のLED器具への変更をお勧め致します。

弊社では今まで数多くの御寺院様より各照明器具のLED化のご相談を賜り、プランニング及び施工を行っており、皆様から大変ご好評いただいております。是非ご相談をお待ち致しております。

Writer 友納

Planning and
Design Department
企画設計部

天然石「印度黒金石」について

第6号にて納骨壇収骨部に使用する天然石のブルーパールについて書きましたが、今回は同様に人気度が高い印度黒金石について書いてみたいと思います。

印度黒金石はその名の通り産出地はインドです。また、「黒金砂」や「Black Galaxy」とも呼ばれています。

見た目は深い黒色で、高級感があり、中に含まれている数種類の鉱物の多くが黒い色をしていることから、石全体が黒くなるんです。また、この石がより一層綺麗に見えるのは、黒色の中にキラキラと輝く金色が星を散りばめたように見えるからです。

この金色に見えるのは古銅輝石という鉱物で、光に当たると金属光沢を放ちます。この金属光沢は近くでよく見ると銅色なんです。

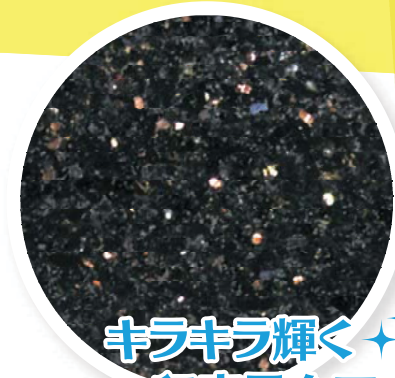
余談ですが、金色に見える鉱物は他には以下のようなものがあります。

「黒雲母が風化したもの」・・・子供と砂場などで遊んでいると、手にきらきらと金色に光る粒がつくことがあります。

「黄鉄鉱」・・・昔から、その見た目より金と間違えられていました。

石も知れば知るほど面白いですね。また石について書ければと思います。

Writer 企画設計部長 吉富



キラキラ輝く
印度黒金石



印度黒金仕様の収骨部 ▲

Construction
Department
工事部

工事部よりスライド のこぎりの紹介！

はじめまして。7月から工事部の部長に就任しました山本と申します。

あいぞので働きはじめて19年目になります。元々は東那珂工場の方で木工の方を担当していました。工事部は現在10名所属しています。木工2名、仏師1名、塗り場1名、彩色2名、組立4名の少数精鋭でやっています。

工事部では様々な道具を使いますが、その一部を紹介したいと思います。

これは、現場で使うスライドのこぎりです。直角、斜め等をカットする電動工

具です。2段式になっており、幅が300mmまでカットできるようになっており大変便利な工具で、納骨壇を綺麗に組立する上で必要な道具です。

これから現場でお会いすることもあると思いますが、その時には気楽にお声掛け下さい。

皆様のお力になれる様に精一杯頑張りたいと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

Writer 工事部長 山本



スライドのこぎり ▲

★ NEW MEMBER ★



工事部彩色 坂井

昨年2月に入社致しました。彩色という重要な業務を任せて頂き、大変喜んでます。皆様の癒しとなり感動して頂ける様な作品を後世へと残していく想いです。



工事部木工 塚寄

昨年2月に入社しました。元々は、舞台の大道具として舞台セットを製作していました。前職の経験や知識を生かして、何事にも挑戦していきたいと思えます。工事部としては女性では珍しいと思われそうですが木工を担当しています。私の製品を是非ご覧下さい。どうぞよろしくお願い致します。



企画設計部 松山

昨年4月に入社しました企画設計部の松山です。寺院と関わりがある伝統的なお仕事に就けてとても光栄です。前職は貿易事務でした。その経験を生かして少しでも早くお役に立てるように頑張ります。



工事部 瀬戸口

昨年10月に入社いたしました瀬戸口です。前職では野菜の販売をしていたので未経験の分野であり、新たに挑戦できることを嬉しく思います。一日も早く皆様のお役に立てるよう精進してまいります。よろしくお願致します。

浄土宗
西谷山 甘露院 法泉寺
福岡県朝倉市

福岡県朝倉市にある浄土宗西谷山甘露院法泉寺は大変歴史が古く、元々法相宗として1296年に創建されました。

その後、1478年(足利9代將軍義久の時代)に現在の地に浄土宗として移転し、以来年を重ね現住職で39世となります。

御本尊の阿弥陀如来は、浄土宗として建立当時からお寺を守っておられます。本堂は築160年程経っており、現在の脇間にある襖は当時の物が残されています。

また、平成6年には、あいぞの仏師である小川静雲氏によって善導大師の修復を行わせて頂いており、30年経過した現在でも鮮やかな色彩を保っています。2025年には建立550年の法要を計画しており、記念として1尺6寸の木魚を現在製作中です。



山門



本堂外観



御本尊阿弥陀如来



本堂内陣

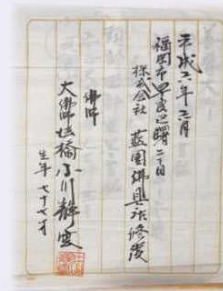
本堂外陣



善導大師



160年前の襖



浄土真宗本願寺派
松榮山 西念寺
佐賀県伊万里市



本堂外観

伊万里市大坪町にある、西念寺(井手恵住職)は、毎年降誕会(親鸞聖人の誕生日)に独り芝居や横笛リサイタル等ユニークな行事を開催されています。

平成3年の降誕会頃からは、伊万里市のローカルテレビが毎年撮影に来ており、今年で33回目となります。現在ではYouTubeでも鑑賞出来る様になっていきますので是非検索してご覧ください。(住職様は、特に第27・32回がお薦めの事です)

平成25年には、納骨堂工事を弊社寺社ラボの設計管理のもと竣工、納骨堂は弊社オリジナル壇の『極』と『匠』を設置し、下部には御影石を使用致し



納骨堂外観

ました。中でも『匠』壇の扉には通常蓮水が描かれていますが、坊主様の御希望で特別に桜の蒔絵を入れさせて頂き、女性らしいやさしいデザインに仕上がりました。令和2年には寺社ラボにて、本堂・庫裡・会館の電気配線工事を受注、全てLED照明器具に交換し、より一層明るくなり大変喜んで頂いております。

弊社に於きましては、本堂

仏具・納骨堂工事は勿論の事、

建築工事や法規相談受付、電

気工事など、お寺に関する事

であれば何でも承りますので

是非ご相談下さい。



オリジナル納骨壇「極」

◀ 納骨堂内部



普通壇「匠」



永代供養堂

専修山正行寺は、昭和28年にその寺号を拝受し現在に至ります。現本堂は昭和38年に、鉄筋コンクリート造にて施工されています。当時としては珍しい納骨堂を2階に配したモダンな造りが好評を博しました。また、昭和62年に現住職の継職法要の記念事業の一環として、山門が建立され、寺としての景観が整いました。

また、令和4年、永代合同墓を中心とした新しい納骨堂及び門信徒会館が完成し、駐車場も整備され、お参りの方々もお寺に来る喜びを感じておられます。

納骨壇は弊社オリジナルの「極」をご納入させて頂いております。また正面造り横の納骨壇は、ご本尊の



新納骨堂外観

後背壁をガラス張りにする特別な仕様をご提案させて頂き、お仏壇内に柔らかな光が差し込むよう設計されており、まるでご本尊から優しい後光が差しているような雰囲気を感じられると、訪れる御門徒の皆様大変喜んで頂いております。



特別壇「極」ご本尊様の後壁からはやさしい光が…



▲ 納骨堂正面造



門信徒公館



新納骨堂内部

顧客 FILE

35

浄土真宗本願寺派

専修山 正行寺

福岡県北九州市

営業マンにお申し付けください。納骨壇・永代供養壇のパンフレットをさしあげます。

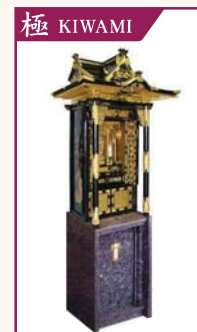
ご存知ですか？

“あいその”のオーダーメイド納骨壇

弊社企画設計デザイナーが各ご寺院様の為にたった一つだけのオリジナル納骨壇や永代供養壇をご提案させていただきます。天然木・天然石・アルミ材とさまざまな素材を選定し、お客様のご希望の型・サイズ・仕上がり・予算をお聞きし、どこにもない特別仕様の納骨壇、永代供養壇をご提案させていただきますので、是非一度ご相談ください。

弊社オリジナル壇 ベーシックモデルの一例です

※最近、弊社製品のコピー品が出回っておりますのでご注意ください。弊社製品は全て意匠登録出願中です。



木+天然石



木+天然石



アルミ+木



木+天然石



アルミ+木
鹿児島別院様ご納入



アルミ+木
鹿児島別院様ご納入

SAGA RYUKOKU



「あいその」は 佐賀龍谷高校サッカー部を応援しています！

社長の寄り処

博多においての際は是非お立ち寄りください

ご注文の際には“あいその社長”からとお声掛け下さい。心からのサービスを行うそうですよ！

Chiffon cake
Hana Hana

シフォンケーキと酵素ジュースの専門店です。しっとりフワフワのシフォンケーキは幼い頃から少しづつ母に教えてもらった母の愛を受け継ぐ優しいケーキです。白砂糖は使わずオリゴ糖を多く含む甜菜糖を使用し、“体に優しい”をテーマにした見た目も華やかで素敵な美味しいスイーツをお届けします。

住所：福岡県福岡市中央区赤坂 2-3-28 1F
TEL：090-9408-0711
アクセス：地下鉄空港線「赤坂駅」から徒歩9分

絶対品のタン串やサガリを楽しめる「串かす」がリニューアルオープン。店主のこだわりと想いを、特別な空間でお楽しみください。

福岡県福岡市博多区中洲3-6-23
TEL. 092-281-0609

建築設計・施工のご相談も是非お寄せ下さい。
寺社専門の建築士が無料でアドバイスをさせていただきます。



専明寺 (山口県下松市)



専称寺 (島根県浜田市)



西本願寺 (京都府京都市)



洞雲寺 (東京都新宿区)



明光寺 (福岡市博多区)



善正寺 (広島県広島市)



萬行寺 (福岡市博多区)



西方寺 (長崎県佐世保市)



西養寺 (熊本県荒尾市)



鹿児島別院 (鹿児島県鹿児島市)



攝護寺 (宮崎県都城市)



妙願寺 (兵庫県加古川市)



松屋寺 (大分県日出町)



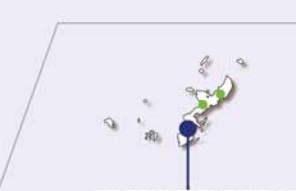
唯称寺 (大阪府港区)



寿昌寺 (神奈川県藤沢市)



妙信寺 (神奈川県横浜市)



浦添本願寺 (沖縄県浦添市)



創業100周年の「あいぞの」
と一緒に働いてみませんか

営業部 工事部 寺社部 企画設計部 総務部
正社員募集

「株式会社あいぞの寺社ラボ」
も正社員募集中です!

寺社仏閣のトータルプランナー



株式
会社

あいぞの

株式
会社

あいぞの 寺社ラボ

〒814-0004 福岡市早良区曙2丁目7番13号

0120-168-940

FAX.092-822-2582

あいぞのホームページ
<http://www.aizono.co.jp>



あいぞのグループ

- 藍園仏具店 ■ 藍園仏工舎 ■ あいぞの神具部
- あいぞの寺社部建築設計事務所 ■ あいぞの建築工房
- 東那珂工場 福岡市博多区博多東那珂3丁目6
- 上海支社 上海市松江区新橋開発区民強路289号